

仙台市防災会議
第1回原子力防災部会・第1回作業部会
合同会議

参考資料

-
1. 原子力防災用語等の説明
 2. 国の規制値等
 3. 原子力規制委員会の放射性物質拡散シミュレーション試算結果
 4. 仙台市における福島原発事故後のモニタリング結果
-

平成24年10月30日

仙台市総務企画局危機管理室

1. 原子力防災用語等の説明

出典：食品安全委員会，食品中の放射性物質による健康影響について，平成 24 年 1 月

放射線とは

物質を通過する**高速の粒子、高いエネルギーの電磁波**

ガンマ(γ)線/エックス(X)線

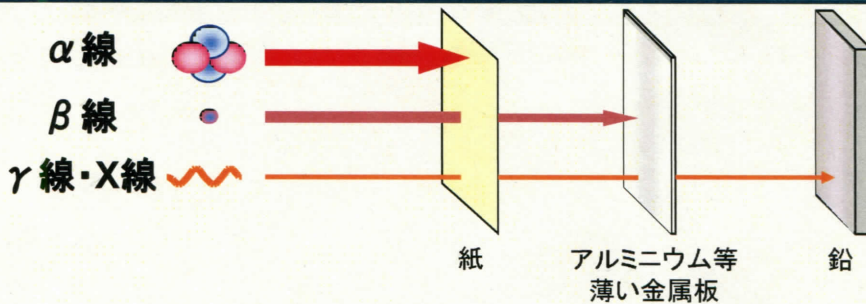
- ガンマ線はエックス線と同様の電磁波
物質を透過する力がアルファ線やベータ線に比べて強い

ベータ(β)線

- 電子の流れ
薄いアルミニウム板で遮ることができる

アルファ(α)線

- ヘリウムと同じ原子核の流れ
薄い紙1枚程度で遮ることができる



3

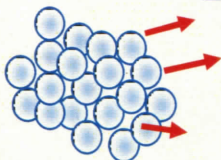
放射能と人体影響の単位

- 「放射能の強さ」の単位は「ベクレル」
- 「人体影響レベル」の単位は「シーベルト」
- ベクレルとシーベルトをつなぐ「実効線量係数」

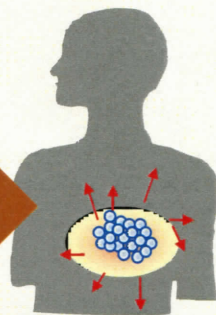
単位：ベクレル(Bq)

放射線を出す能力の強さ

食品検査などの
結果表示で使う

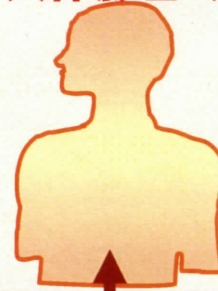


内部被ばく



単位：シーベルト(Sv)

全身の人体影響 (実効線量)



実効線量係数

放射性物質の摂取後50年間(子供は70歳まで)
に受ける線量を計算するための換算係数

4

放射性物質を摂った時の人体影響 (計算方法)

例: 1kgあたり500ベクレルのセシウム137を含む
食品を1kg食べた場合の
放射線による人体影響の程度(シーベルト)

(成人の場合)

$$\text{ベクレル/kg} \times \text{食べた量 (kg)} \times \text{実効線量係数} = \text{ミリシーベルト (mSv)}$$

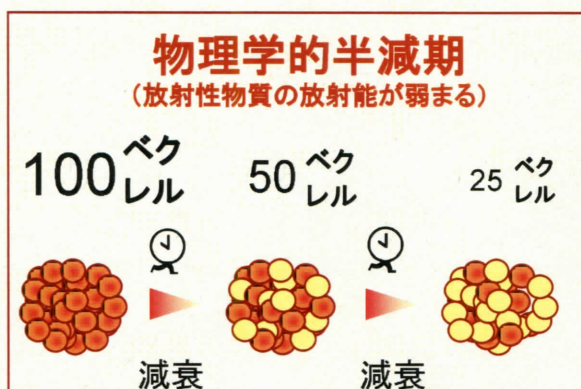
$$500 \text{ベクレル/kg} \times 1 \text{kg} \times 0.000013 = 0.0065 \text{ミリシーベルト (mSv)}$$

実効線量係数は
放射性物質の種類(セシウム137など)ごと、
摂取経路(経口、吸入など)ごと、
年齢区分ごとに、国際放射線防護委員会(ICRP)等で設定

5

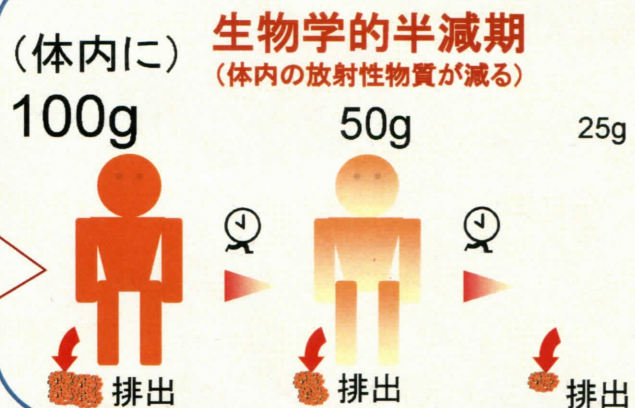
放射性物質が減る仕組み

体内に入った放射性物質は、放射性物質の性質と
排泄などの体の仕組みによって減少する



物理学的半減期の例

- ・セシウム134は2.1年
- ・セシウム137は30年
- ・ヨウ素131は8日



放射性セシウムの生物学的半減期

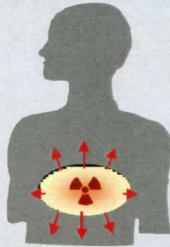
- ～1歳 9日
- ～9歳 38日
- ～30歳 70日
- ～50歳 90日

6

内部被ばくと外部被ばく

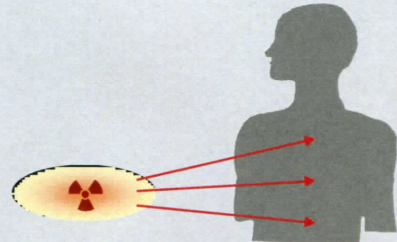
- ・内部被ばくも外部被ばくも、人体影響は同じ単位の「シーベルト」
- ・内部被ばくでは、体内での存在状況に応じた放射性物質からの被ばくが続くことを考慮して線量が計算される

内部被ばく (食品摂取・吸入)



被ばく線量の単位:シーベルト
 =放射能の強さ(ベクレル)×実効線量係数
 摂取後50年間(子供は70歳まで)
 に受ける積算の線量(預託線量)

外部被ばく

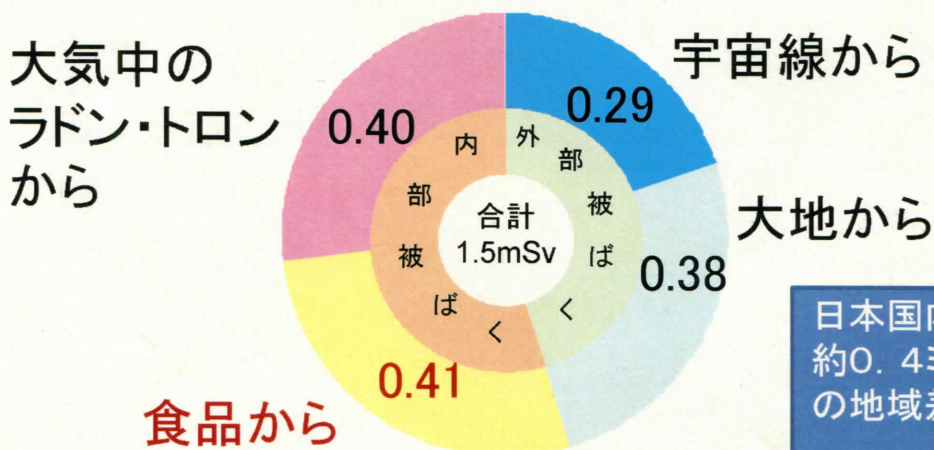


被ばく線量:シーベルト
 =線量率(mSv/時)×被ばくした時間(時)

7

もともとある自然放射線から受ける線量

1人あたりの年間線量(日本人平均)は、約1.5ミリシーベルト



日本国内でも最大
 約0.4ミリシーベルト
 の地域差があります

出典:放射線医学総合研究所 2007

- 自然放射線の量は地質により異なるため、地域差がある
- 食品にはカリウム40などが含まれている

8

2. 国の基準値等

空間放射線量及び食品中の放射性物質に係る基準値について

1 空間放射線量

国は除染に関する長期的目標として、空間放射線量が年間1～20ミリシーベルトの地域については、自然放射線及び医療放射線を除いた追加被ばく線量を年間1ミリシーベルト(mSv)以下にするとした。

また、「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出されたよる環境の汚染への対処に関する特別措置法」において、空間放射線量の測定値が1時間当たり0.23マイクロシーベルト(μ Sv)以上の区域を汚染状況重点調査地域として指定し、除染を実施するとしている。

<年間の追加被ばく線量1mSvと1時間当りの空間放射線量0.23 μ Svの関係>

- ・空間放射線量の測定値には、元々自然界にある放射線量も計測されるため、これを差し引いて追加被ばく線量を求める。
- ・自然界にある大地からの放射線量は1時間当たり0.04 μ Sv。

$$\begin{aligned} \text{追加被ばく線量} &= \text{空間放射線量の測定値} - \text{自然界の放射線量} \\ &= 0.23 - 0.04 = 0.19 \end{aligned}$$

- ・生活パターンを1日のうち屋外に8時間、屋内(放射線の遮蔽効果(0.4倍)の木造家屋)に16時間いると仮定

これより、1年間の追加被ばく線量は、

$$(0.19 \times 8 + 0.19 \times 0.4 \times 16) \times 365] \div 1000 \mu \text{ Sv} = 1 \text{ mSv}$$

2 食品中の放射性物質の基準値

平成23年3月17日に国は食品衛生法による放射性物質に関する暫定規制値を定めた(表1)。更に、より一層の食品の安全と安心を確保するため平成24年4月1日に食品衛生法による新たな基準値を定めた(表2)。

表1 暫定規制値
(～H24.3.31まで)

食品分類	(ベクレル/kg)	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム
飲料水	300	200
牛乳・乳製品	300	200
野菜類	2000	500
魚介類	2000	500
肉・卵・その他	—	500
穀類	—	500

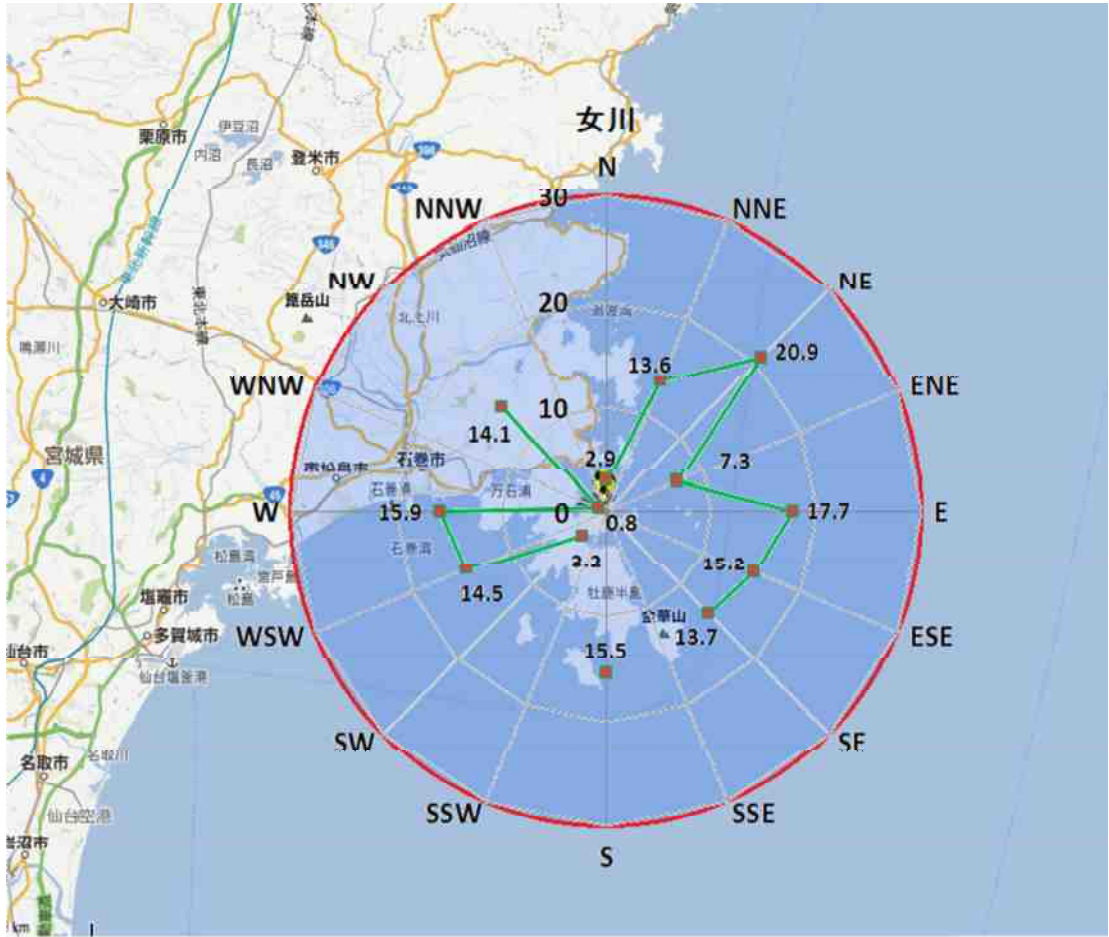
表2 新基準値
(H24.4.1～)

食品分類	(ベクレル/kg)
	放射性セシウム
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100
乳児用食品	50

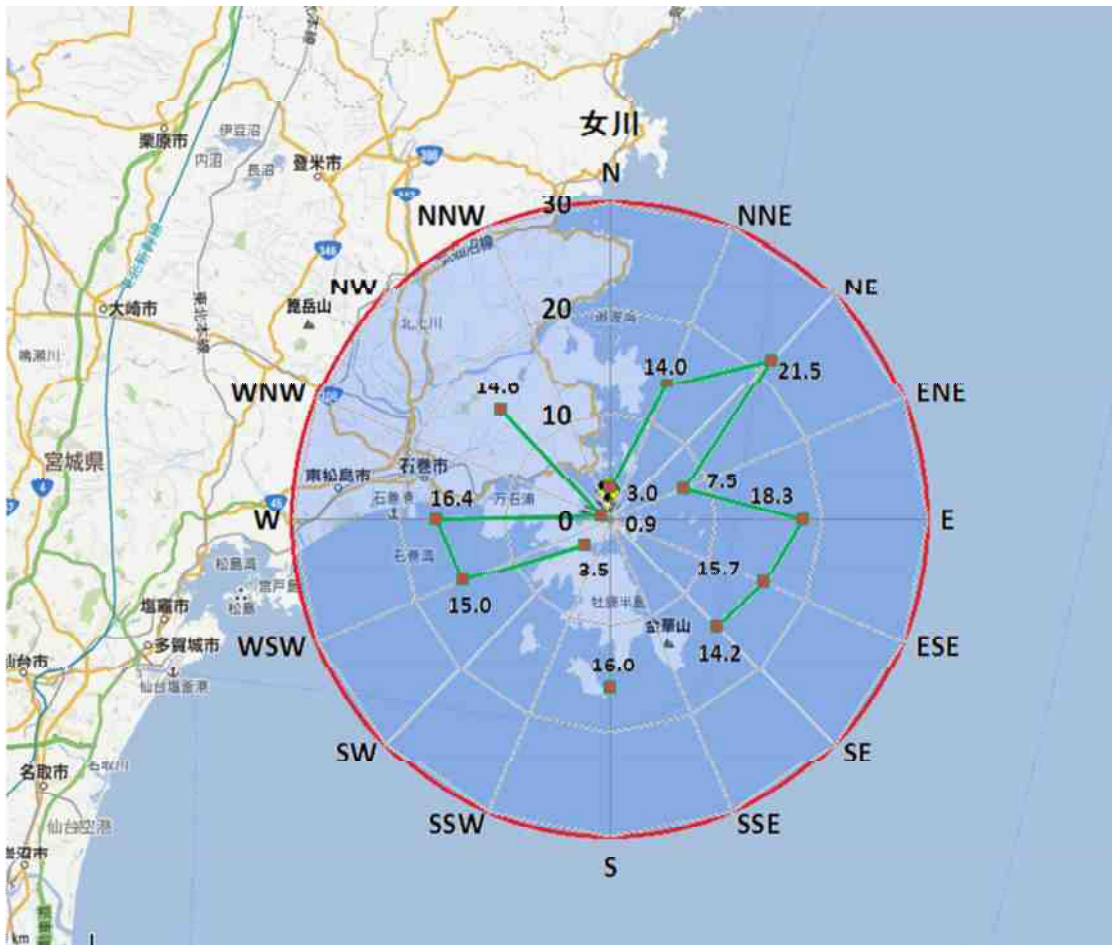


3. 原子力規制委員会の放射性物質拡散シミュレーション試算結果

参考 3-1 試算結果：女川



福島第一原子力発電所（1～3号機）の放射性物質量と同じと仮定した計算



サイト出力に対応した放射性物質量を仮定した計算

参考3-2 方位別のめやす線量を超える距離(女川)

単位: km

	赤色骨髄線量 (福島第一原子力発電所(1~3号機)の放射性物質質量と同じと仮定) 97%値	赤色骨髄線量 (サイト出力に対応した放射性物質質量と仮定) 97%値	実効線量 (福島第一原子力発電所(1~3号機)の放射性物質質量と同じと仮定) 97%値	実効線量 (サイト出力に対応した放射性物質質量と仮定) 97%値
N	< 0.2	< 0.2	2.9	3.0
NNE	0.4	0.5	13.6	14.0
NE	0.8	0.8	20.9	21.5
ENE	< 0.2	0.2	7.3	7.5
E	0.6	0.6	17.7	18.3
ESE	0.5	0.5	15.2	15.7
SE	0.4	0.4	13.7	14.2
SSE	*	*	*	*
S	0.4	0.5	15.5	16.0
SSW	*	*	*	*
SW	< 0.2	< 0.2	3.2	3.5
WSW	0.4	0.4	14.5	15.0
W	0.4	0.5	15.9	16.4
WNW	< 0.2	< 0.2	0.8	0.9
NW	0.4	0.4	14.1	14.6
NNW	*	*	*	*

: 陸側最大方位
 : 海側方位

<備考>

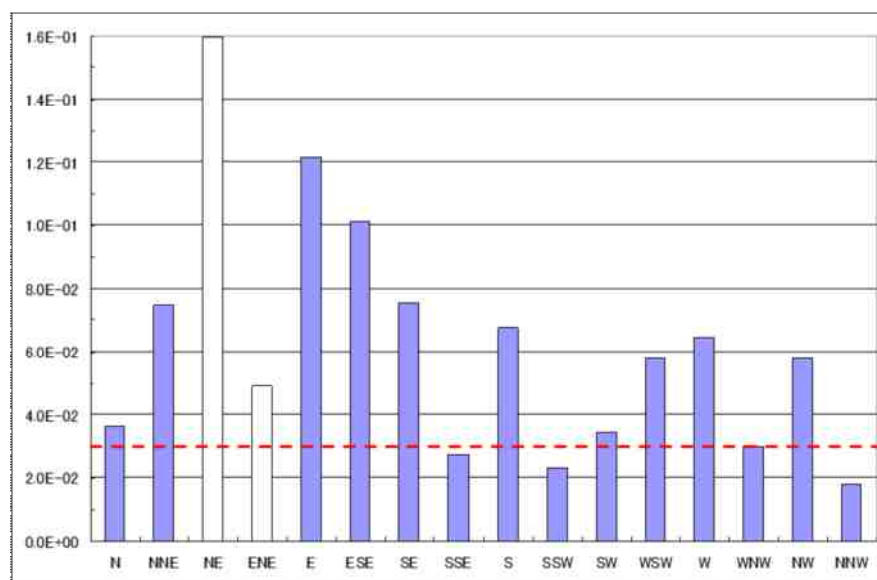
*印は、当該方位に着目した場合、97%値が出現しない場合を示す。

16方位のうち最大値となる(海側除く)

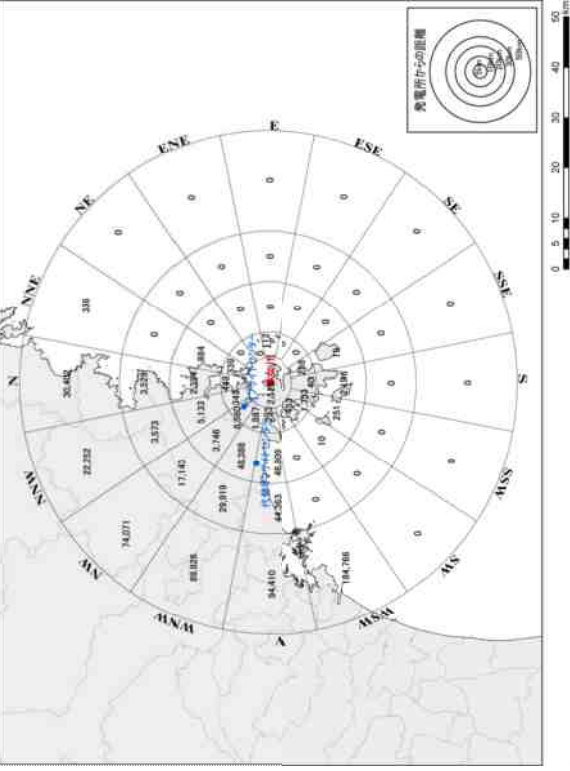
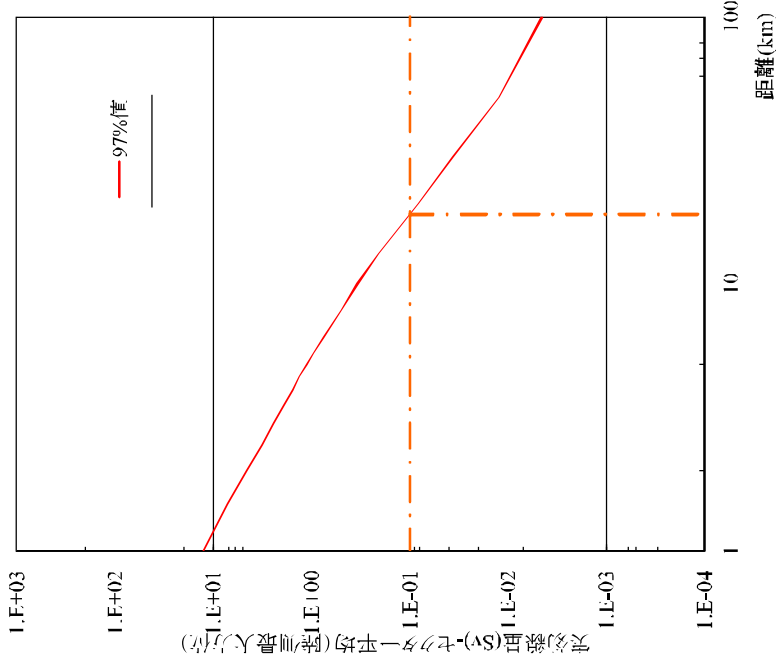
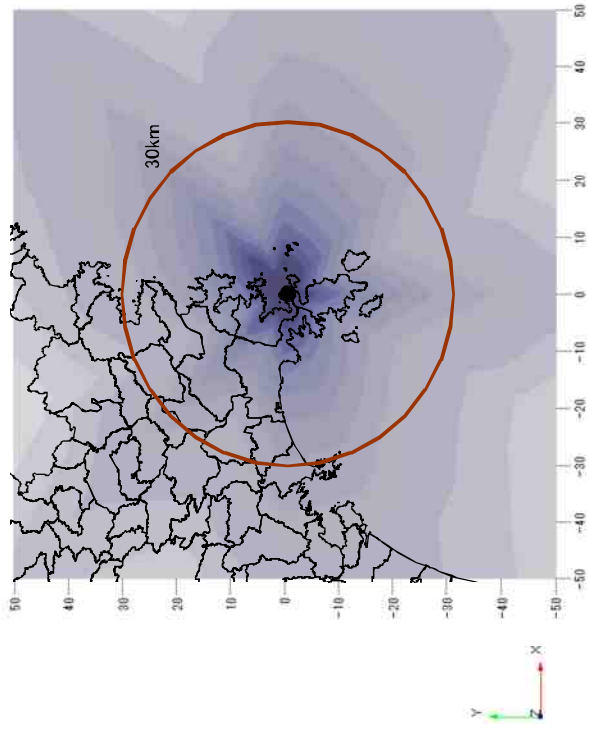
赤色骨髄線量の期待値:0.2km、すそ値:1.8km

実効線量の期待値:4.5km、すそ値:47.2km

風向出現確率



: 陸側方位



実効線量の期待値によるコンタム図及び30km同心円

注：陸側最大方位はπ

めやす線量を超える距離範囲

97%値	陸側最大方位
	18.3 km

人口分布図

【目的】

拡散シミュレーションは、道府県が、地域防災計画を策定するにあたり、防災対策を重点的に充実すべき地域の決定の参考とすべき情報を得るため*に、原子力発電所の事故により放出される放射性物質の量、放出継続時間などを仮定し、周辺地域における放射性物質の拡散の仕方を推定するもの。

しかしながら、シミュレーション上の限界があるので、あくまでも目安として参考にすべきデータであることに留意が必要である。

※今般の福島事故を踏まえ、原子力安全委員会報告(平成24年3月)では、防災対策を重点的に充実すべき地域の目安(原子力施設から8~10km)を見直し、概ね30kmとすることとしている。

【拡散シミュレーションの限界について】

拡散シミュレーションは、以下のように精度や信頼性に限界があることを踏まえて、参考とすべき。

- 地形情報を考慮しておらず、気象条件についても放出地点におけるある一方向に継続的に拡散すると仮定していること。
- シミュレーションの結果は個別具体的な放射性物質の拡散予測を表しているのではなく、年間を通じた気象条件などを踏まえた総体としての拡散の傾向を表したものであること。
- 初期条件の設定(放射性物質の放出シナリオ、気象条件、シミュレーションの前提条件等)や評価手法により解析結果は大きく異なること。
- 各サイトで実測した1年分の気象データ8760時間(365日×24時間)を用いているため、すべての気象条件をカバーできるものではなく、また今後の事故発生時の予測をしたものでもない。

東京電力福島第一原子力発電所の事故と同程度のシビアアクシデントをベースとしてより厳しい条件を想定

(初期条件)

○放出量及び時点: 1～3号機の3基分の総放出量^{※1} (もしくは発電所の出力比に応じた放射性物質質量) が一度に放出したと仮定

※1: 日本国政府がIAEAへ報告した放出量(ヨウ素131とセシウム137の合計をヨウ素換算して77万テラベクレルとなる多様な核種の放出を想定)

○放出継続時間: 放出量が最も多かった2号機の放出継続時間(10時間)と仮定

○放出高さ: 地表面近傍の濃度が大きくなる0m(地上放出)と仮定

○被ばく推定値は、外部被ばく及び内部被ばくの両方を考慮

(評価手法)

○米国NRCにおいても、放射線被ばくや拡散を評価する際に使用するMACCS2を利用^{※2}

※2: 年間の気象パターンや風向きなどのデータから、放射性物質の拡散の傾向を計算するもの。SPEEDIを用いた解析では地形情報・風向分布等の様々なパラメータを用いるため、年間を通じた全サイトの解析を行うには膨大な時間が必要。

【試算値】

原子力発電所について試算を行い、各サイトにおける年間の気象データ(8760時間分の大気安定度、風向、風速、降雨量)から、放射性物質が拡散する方位、距離を計算。

そのなかで、拡散距離が最も遠隔となる方位(16方位区分)において、実効線量が線量基準※¹に達する確率が気象指針(原子力安全委員会決定(昭和57年1月))に示された97%に達する距離※²を試算する。

※1:外部・内部の被ばく経路の合計で実効線量が7日間で100mSv(IAEAにおいて避難が必要とすべき線量基準に準拠)

※2:最も遠隔となる方位以外の方位における線量基準に達する拡散距離は、当然小さくなるものであり、この方位の97%値は陸側方向の全方位について基準線量に達する範囲をカバーしている。

※また、計算上は、線量基準を超える平均的な距離としての期待値や発生確率の極めて低い極端な気象条件によるすそ値なども得られる。

- 気象指針(原子力安全委員会決定(昭和57年1月))において示された97%を使用。
- この指針は、発電用原子炉施設の平常運転時及び想定事故(重大事故及び仮想事故)時における線量評価に際し、大気中における放射性物質の拡散状態を推定するために必要な気象観測方法、観測値の統計処理方法及び大気拡散の解析方法を定めたもの。
- この指針において、累積出現頻度が97%となる値を相対濃度として、試算に活用。

【抜粋】 発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(原子力安全委員会決定、昭和57年1月28日)

VI. 想定事故時の大気拡散の解析方法

想定事故時の線量計算に用いる放射性物質の地表空气中濃度は、単位放出率当たりの風下濃度(相対濃度と定義する)に事故期間中の放射性物質の放出率を乗じて算出する。

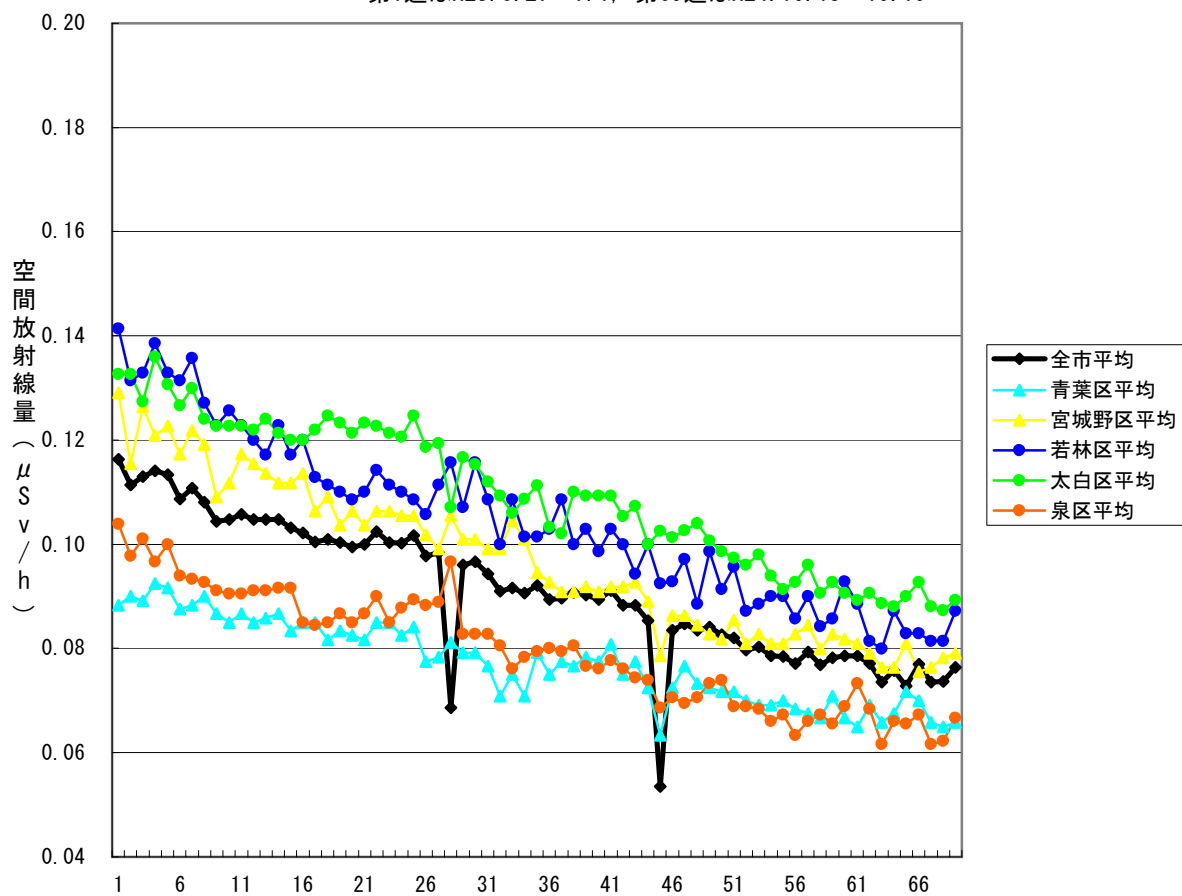
1. 線量計算に用いる相対濃度

- (1) 相対濃度は、毎時刻の気象資料と実効的な放出継続時間(放射性物質の放出率の時間的変化を考慮して定めるもので、以下実効放出継続時間という)をもとに方位別の着目地点について求める。
- (2) 着目地点の相対濃度は、毎時刻の相対濃度を年間について小さい方から累積した場合、その累積出現頻度が97%に当たる相対濃度とする。
- (3) 線量計算に用いる相対濃度は、上記2で求めた相対濃度のうち最大の値を使用する。

4. 仙台市における福島原発事故後のモニタリング結果

仙台市内の空間放射線量の状況

第1週はH23. 6. 27~7. 1, 第69週はH24. 10. 15~10. 19



※28, 45週は休日により欠測多く、参考値です。

放射性物質のモニタリング状況(主なもの)

- 1 水道水(10/24現在)
 - ・放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値0.4Bq/kg未満)

- 2 仙台産野菜
 - ・検査数: 162品目(10/24現在)
 - ・放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値20Bq/kg)

- 3 学校給食食材の検査
 - ①使用頻度の高い共通食材の検査(市場)
 - ・検査数: 158品目(10/19現在)
 - ・現在は放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値10Bq/kg)
(過去には, なめこで検出11, 12Bq/kg(3/23, 4/6))
 - ②給食センターにおける食材の検査
 - ・検査数: 950品目(10/25現在)
 - ・放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値20Bq/kg)
 - ・検査数: 950品目(10/25現在)
 - ・放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値20Bq/kg)

- 4 保育所給食食材の検査
 - ・検査数: 319品目(10/25現在)
 - ・放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値25Bq/kg)

- 5 仙台市卸売市場に流通している農水産物
 - ・検査数: 319品目(10/22現在)
 - ・ほとんど放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値25Bq/kg)
(過去には, マダラで106Bq/kg検出(1/31))

- 6 市場外流通食品の検査
 - ・検査数: 60品目(10/12現在)
 - ・ほとんど放射性セシウム134, 137とも不検出(検出下限値20Bq/kg)
(過去に舞茸で14Bq/kg検出(7/19))

事業のご案内

くらしと水道

水源・施設・水質

届出・料金

広報・お客さまの声

災害への備え

キッズページ

窓口・問い合わせ

トップページ > 水道水の放射能測定結果(最新)

災害情報

水道水の放射能測定結果について(H24.10.25更新)

仙台市水道局の全浄水場(8カ所)および仙南・仙塩広域水道(太白配水所)の水道水について、放射能測定を行いました。

結果は、いずれの採水場所でも放射性セシウムは検出されませんでした。よって、仙台市の水道水は、安心してご利用いただけます。

今後も、週1回測定を行う予定です。

● 測定結果(単位Bq/kg)

・ 測定機関：仙台市水道局水質検査課

採水場所	採水月日	放射性セシウム	
		セシウム134	セシウム137
茂庭浄水場	10月22日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
国見浄水場	10月24日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
福岡浄水場	10月23日	不検出 (0.3未満)	不検出 (0.4未満)
中原浄水場	10月24日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
作並浄水場	10月22日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
熊ヶ根浄水場	10月22日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
野尻浄水場	10月22日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
滝原浄水場	10月22日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
仙南・仙塩広域水道 (太白配水所)	10月24日	不検出 (0.4未満)	不検出 (0.4未満)
厚生労働省が定めた水道水の管理目標値 (平成24年4月1日から適用)		10 (セシウム134および137の合計値)	

仙台産野菜等の放射性物質独自検査計画・結果等

「検出せず」とは、放射性物質の濃度が検出下限値未満の状態を表します。(単位:ベクレル/kg)

(平成24年10月24日現在)

採取日	調査地区		青葉区	宮城野区	若林区	中田・長町・西多賀	太白区	泉区
	放射性セシウム134+137	放射性セシウム134+137	宮城	岩切・高砂	七郷・六郷	中田・長町・西多賀	じゃがいも (秋保地区・露地栽培) 検出せず(20未満)	生田・秋保 食用ほおずき (秋保地区・ハウス栽培) 検出せず(20未満)
9月4日(火)								泉・根白石
検査結果 (9月5日)	放射性セシウム134+137							
9月11日(火)								
検査結果 (9月12日)	放射性セシウム134+137		なす (高砂地区・露地栽培) 検出せず(20未満)			ねぎ (長町地区・露地栽培) 検出せず(20未満)		
9月18日(火)								
検査結果 (9月19日)	放射性セシウム134+137				こまつな (六郷地区・露地栽培) 検出せず(20未満)	ねぎ (西多賀地区・露地栽培) 検出せず(20未満)		
9月25日(火)								トマト (泉地区・露地栽培) 検出せず(20未満)
検査結果 (9月26日)	放射性セシウム134+137		いんげん (宮城地区・ハウス栽培) 検出せず(20未満)					
10月2日(火)								
検査結果 (10月3日)	放射性セシウム134+137					こまつな (中田地区・露地栽培) 検出せず(20未満)		
10月9日(火)								
検査結果 (10月10日)	放射性セシウム134+137						だいこん (生田地区・露地栽培) 検出せず(20未満)	りんご (根白石地区・露地栽培) 検出せず(20未満)
10月16日(火)								
検査結果 (10月17日)	放射性セシウム134+137				ほうれんそう (七郷地区・露地栽培) 検出せず(20未満)	だいこん (西多賀地区・露地栽培) 検出せず(20未満)		
10月23日(火)								
検査結果 (10月24日)	放射性セシウム134+137			プロッコリー (高砂地区・露地栽培) 検出せず(20未満)		せり (中田地区・露地栽培) 検出せず(20未満)		
10月30日(火)								
検査結果 (10月30日)	放射性セシウム134+137		りんご予定 (宮城地区)				だいこん予定 (秋保地区)	

※検査機関：仙台市衛生研究所

* 検出下限：セシウム134：10Bq/kg、セシウム137：10Bq/kg

※新基準値：一般食品 放射性セシウム：100Bq/kg

仙台市の学校給食で使用する食品の放射性物質検査結果について

検査日	品目	産地	検査結果(ベクレル/kg)		
			放射性ヨウ素131	放射性セシウム134	放射性セシウム137
平成24年10月19日	牛乳	宮城県(全域)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(北部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(南部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
平成24年10月12日	なめこ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	まいたけ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	りんご	青森県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年10月5日	ぶどう(巨峰)	福島県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	ぶどう(巨峰)	山梨県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	さといも	栃木県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	さといも	新潟県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年9月28日	なし	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	なし	福島県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	なし	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	なし	栃木県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年9月21日	牛乳	宮城県(全域)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(北部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(南部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
平成24年9月14日	さんま	北海道沖	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	いか	青森県沖	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	ぎんざけ	岩手県沖	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年9月7日	とうもろこし	青森県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	モロヘイヤ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	とうがん	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	にがうり	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年8月31日	さば	青森県八戸沖	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	鶏卵	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	さば	宮城県沖	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年8月24日	牛乳	宮城県(全域)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(北部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(南部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
平成24年8月10日	えだまめ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	なす	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	かぼちゃ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年8月3日	トマト	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	なめこ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	鶏卵	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年7月27日	まいたけ	新潟県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	ぶなしめじ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	えのきたけ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
平成24年7月20日	牛乳	宮城県(全域)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(北部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)
	牛乳	宮城県(南部)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)	検出せず(5未満)

仙台市の学校給食で使用予定の食品の放射性物質検査結果について

検査日	センター名	品目	産地	検査結果(ベクレル/kg)		
				放射性セシウム134	放射性セシウム137	
平成24年10月25日	太白学校給食センター	セロリー	長野県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		みずな	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	宮城学校給食センター	はくさい	長野県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		かき	奈良県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	高砂学校給食センター	なめこ	岩手県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		きゅうり	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	野村学校給食センター	根深ねぎ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		ピーマン	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	加茂学校給食センター	ほうれんそう	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		ピーマン	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	荒巻学校給食センター	キャベツ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		なめこ	岩手県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	平成24年10月24日	太白学校給食センター	ごぼう	青森県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
			ぶなしめじ	山形県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
宮城学校給食センター		キャベツ	群馬県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		きゅうり	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
高砂学校給食センター		キャベツ	岩手県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		根深ねぎ	群馬県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
野村学校給食センター		さつまいも	茨城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		ごぼう	青森県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
加茂学校給食センター		こまつな	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		根深ねぎ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
荒巻学校給食センター		パセリ	宮城県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		りんご	岩手県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
平成24年10月23日		太白学校給食センター	りんご	山形県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
			まいたけ	新潟県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)
	宮城学校給食センター	ごぼう	青森県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		だいこん	北海道	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	高砂学校給食センター	りんご	岩手県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		まいたけ	新潟県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	野村学校給食センター	ほうれんそう	群馬県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		にんじん	北海道	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	加茂学校給食センター	セロリー	長野県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		じゃがいも	北海道	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
	荒巻学校給食センター	ごぼう	青森県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	
		まいたけ	新潟県	検出せず(10未満)	検出せず(10未満)	

仙台市の保育所給食に使用する食品の放射性物質検査結果について（平成24年10月）

- 【検査実施主体】 宮城県（測定器の設置場所は仙台市子供未来局保育課）
 【対象食品】 食品中の放射性物質に関する新たな基準値（平成24年4月1日施行）において「一般食品」に分類されるもの
 （参考）食品衛生法に基づく食品中の放射性物質に関する基準値
 放射性セシウム

一般食品	100Bq/Kg
------	----------

 【測定器】 NaIシンチレーションスペクトロメータ（簡易測定器）
 【検査項目】 放射性セシウム（Cs-134及びCs-137）
 【検査方法】 厚生労働省の定める「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」に準じて簡易検査を行い、測定結果が基準値の2分の1（50Bq/Kg）より大きい場合は、ゲルマニウム半導体検出器を用いた精密検査を実施します。

（単位：Bq/Kg）

No.	検査日	品目	産地	使用予定施設 ※1	簡易検査結果 ※2	備考（精密検査結果等）
38	平成24年10月25日	長ねぎ	宮城県	高砂保育所	測定下限値未滿(<25)	—
37	平成24年10月25日	りんご	青森県	福田町保育所	測定下限値未滿(<25)	—
36	平成24年10月24日	鶏卵	宮城県	南光台北保育所	測定下限値未滿(<25)	—
35	平成24年10月23日	大根	青森県	鶴ヶ谷第二保育所	測定下限値未滿(<25)	—
34	平成24年10月23日	ごぼう	青森県	鶴ヶ谷保育所	測定下限値未滿(<25)	—
33	平成24年10月23日	ピーマン	岩手県	東仙台保育所	測定下限値未滿(<25)	—
32	平成24年10月19日	精白米	宮城県	長命ヶ丘保育所	測定下限値未滿(<25)	—
31	平成24年10月19日	りんご	山形県	将監保育所	測定下限値未滿(<25)	—
30	平成24年10月19日	白菜	宮城県	将監西保育所	測定下限値未滿(<25)	—
29	平成24年10月18日	大根	北海道	七北田保育所	測定下限値未滿(<25)	—
28	平成24年10月18日	わかめ	宮城県	鶴ヶ丘保育所	測定下限値未滿(<25)	—
27	平成24年10月18日	さつまいも	宮城県	岩切保育所	測定下限値未滿(<25)	—
26	平成24年10月17日	ほうれんそう	宮城県	八乙女保育所	測定下限値未滿(<25)	—
25	平成24年10月17日	なめこ	山形県	黒松保育所	測定下限値未滿(<25)	—
24	平成24年10月17日	生しいたけ	宮城県	旭ヶ丘保育所	測定下限値未滿(<25)	—
23	平成24年10月16日	たまねぎ	北海道	八木山保育所	測定下限値未滿(<25)	—
22	平成24年10月16日	にんじん	北海道	青山保育所	測定下限値未滿(<25)	—
21	平成24年10月15日	きゅうり	宮城県	上野山保育所	測定下限値未滿(<25)	—
20	平成24年10月15日	白菜	長野県	太田保育所	測定下限値未滿(<25)	—
19	平成24年10月15日	かぼちゃ	宮城県	人來田保育所	測定下限値未滿(<25)	—
18	平成24年10月12日	長ねぎ	秋田県	飯田保育所	測定下限値未滿(<25)	—
17	平成24年10月12日	もやし	福島県	ノ木保育所	測定下限値未滿(<25)	—
16	平成24年10月11日	キャベツ	岩手県	向山保育所	測定下限値未滿(<25)	—
15	平成24年10月11日	大根	青森県	根岸保育所	測定下限値未滿(<25)	—
14	平成24年10月11日	しめじ	山形県	根岸保育所長町分園	測定下限値未滿(<25)	—
13	平成24年10月10日	精白米	宮城県	袋原保育所	測定下限値未滿(<25)	—
12	平成24年10月10日	さつまいも	茨城県	中田保育所	測定下限値未滿(<25)	—
11	平成24年10月9日	白菜	長野県	堤保育所	測定下限値未滿(<25)	—
10	平成24年10月9日	ほうれんそう	宮城県	荒巻保育所	測定下限値未滿(<25)	—
9	平成24年10月9日	里芋	栃木県	中山保育所	測定下限値未滿(<25)	—
8	平成24年10月4日	れんこん	茨城県	愛子保育所	測定下限値未滿(<25)	—
7	平成24年10月4日	鶏卵	山形県	熊ヶ根保育所	測定下限値未滿(<25)	—
6	平成24年10月4日	小松菜	山形県	湯元保育所	測定下限値未滿(<25)	—
5	平成24年10月3日	じゃがいも	北海道	吉成保育所	測定下限値未滿(<25)	—
4	平成24年10月2日	切り干し大根(もどし)	宮崎県	落合保育所	測定下限値未滿(<25)	—
3	平成24年10月2日	柿	和歌山県	折立保育所	測定下限値未滿(<25)	—
2	平成24年10月1日	梨	宮城県	国見保育所	測定下限値未滿(<25)	—
1	平成24年10月1日	まいたけ	新潟県	支倉保育所	測定下限値未滿(<25)	—

※1 各保育所で翌日以降に使用する予定の食材を測定しています。
 ※2 記載する数値は、簡易検査による「参考値」となります。

平成24年度農水産物流通食品放射性物質検査結果
(平成24年10月25日 現在)

- ★ 簡易検査法:ヨウ化ナトリウム(NaI)シンチレーション検出器による検査
- ★ 精密検査法:ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による検査
- ★ 簡易検査において、50Bq/kg超過となった場合のみ精密検査を実施。
- ★ 簡易検査による数値は放射性セシウムのみの量を表しています。

食品衛生法(昭和22年法律第233号)の規定に基づき食品中の放射性物質に関する規格基準値(Bq/kg)

＜放射性セシウム＞

一般食品 100Bq/kg

(一般食品には、暫定規制値の食品群の「野菜類」、「穀類」、「肉・魚・その他」が含まれています。)

新規追加

No	検査日	生産地	食品 カテゴリ	品目	検査方法	検査結果		備考
						簡易検査結果 放射性セシウム(Bq/kg) (セシウム-134 + セシウム-137)	精密検査結果 放射性セシウム(Bq/kg) (セシウム-134 + セシウム-137)	
231	平成24年10月22日	新潟県	農産物	サトイモ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
230	平成24年10月22日	宮城県	農産物	ブロッコリー	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
229	平成24年10月22日	宮城県	農産物	コマツナ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
228	平成24年10月22日	宮城県	農産物	サニーレタス	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
227	平成24年10月18日	福島県	農産物	ブドウ(巨峰)	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
226	平成24年10月18日	宮城県	農産物	エノキダケ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
225	平成24年10月18日	宮城県	農産物	ミズナ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
224	平成24年10月18日	岩手県	農産物	ハクサイ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
223	平成24年10月16日	宮城県 (三陸南部沖)	水産物	マアジ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
222	平成24年10月16日	宮城県 (宮城県沖)	水産物	ババガレイ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
221	平成24年10月16日	宮城県 (宮城県沖)	水産物	マガレイ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
220	平成24年10月16日	宮城県 (宮城県沖)	水産物	バドログ(ユメカサゴ)	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
219	平成24年10月15日	青森県	農産物	リンゴ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
218	平成24年10月15日	青森県	農産物	ニンジン	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
217	平成24年10月15日	宮城県	農産物	セリ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
216	平成24年10月15日	宮城県	農産物	レタス	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
215	平成24年10月11日	岩手県	農産物	ブドウ(ナイアガラ)	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
214	平成24年10月11日	千葉県	農産物	ミニトマト	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
213	平成24年10月11日	宮城県	農産物	コマツナ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
212	平成24年10月11日	茨城県	農産物	レタス	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
211	平成24年10月4日	福島県	農産物	ナシ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
210	平成24年10月4日	茨城県	農産物	ネギ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
209	平成24年10月4日	福島県	農産物	ニラ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	
208	平成24年10月4日	岩手県	農産物	キャベツ	簡易検査法	測定下限値未満(<25Bq/kg)	-	